

# 幼稚園に行くとき 子どもが泣いてしまいます。

この春、入園・入学を迎え、  
新たなステージに立つお子さんも多いでしょう。  
毎朝、お母さんを悩ませるこのお悩みについて  
子育ての専門家 徳田先生に相談してみましょう。



幼稚園や学校に行くとき  
泣いてしまう子どもへ。

「幼稚園に見送るとき、泣かれるのがつらい」。こうした悩みを抱えるお母さんは、この時期、とても多いんです。家庭で愛情を受けて育った子どもほど、新しい環境に踏み入れるときには、たくさんのエネルギーが必要になります。子どもは今、新しい環境に適應しようとしてがんばっているところ。お母さんにできるのは、心の中で応援してあげることです。

また、幼稚園や保育所の先生を信頼することも大切です。「若い先生は、頼りなく思えてしまう」という相談を受けることがあります。こうして不安を抱いたり、疑ったりしていると、保育者はそれを感じ取って、委縮してしまいます。「先生と園を信頼しています」という気持ちを伝えることで、保育者も「期待に応えたい」という気持ちになり、全力で子どもの成長を支えようとしてくれるはずです。

加えて、新生活をスタートしたばかりの子どもと接する際に、気をつけてほしいことがあります。家に帰るまでの間、子どもは新しい環境に適應するために心のエネルギーを大量に消費しています。ですので、家では気を抜く時間が必要になります。ときに普段よりもワガママになることがあると思います。あまり叱ったりせず、大きな気持ちで見守ってあげるようにしましょう。



徳田先生監修「子育て・育児支援サイト」もチェック!

子育てに役立つ情報が盛りたくさん。  
パソコンやスマートフォンで気軽にご覧いただけます。

徳田先生の  
Q&Aコーナーや  
掲示板も!

パソコン・スマホでアクセス!!

キッズハグ

検索

<http://kidshug.jp>



徳田克己 先生

筑波大学医学医療系教授、教育学博士、臨床心理士、専門は子ども支援学、子育て支援学、気になる子どもの保育。アジア子ども支援学会会長、イオン1パーセントクラブ理事、「筑波大学発ベンチャー子ども支援研究所」の所長として、幼稚園や保育園の先生たちのコンサルタントとしても活躍。年間100件以上の講演を各地でおこない、育児に悩む方からの相談に応じている。著書に「親を惑わす専門家の言葉」、「お母さんがうなずいた数だけ子どもは伸びる」、「育児の教科書「クレヨンしんちゃん」」など。